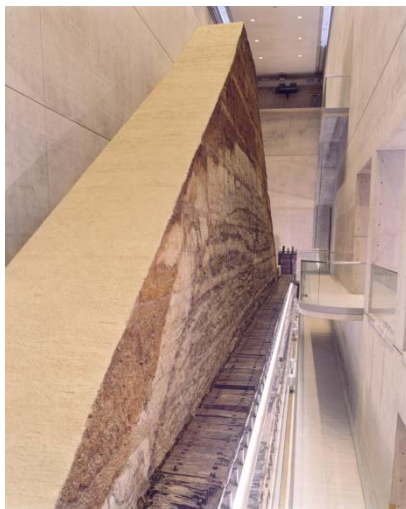


狭山池

(さやまいけ)



全景



堤体断面(狭山池博物館展示)

ため池の概要

□ため池の所在地

大阪府大阪狭山市

□ため池の特徴

狭山池は、古事記、日本書紀にも登場する日本最古のため池で、築造は1400年前の7世紀前半までさかのぼります。長い歴史の中で、行基(奈良時代)、重源(鎌倉時代)、片桐且元(安土桃山時代)など著名な人物が池の改修に関わっています。

現在も358haの農業用水源となっており、精緻な配水機構を備え、洪水調節の機能も併せもつ地域の大切な財産です。

堤や樋などため池の施設には、各時代の知恵と工夫が活かされており、その土木遺産は、隣接の狭山池博物館に展示されています。中でも改修前に切り取った実物の堤体は圧巻です。

風光明媚な池として知られ、枕草子にも「さ山の池」との記述があり、昭和21年には大阪府の史跡名勝第1号にも指定されています。

市民憩いの場であるこの池は、アマサギ、キンクロハジロなど珍しい野鳥を含め、50種類を超える多くの野鳥が訪れることから、平成の大改修では干潟が設けられ、水循環装置も設置されました。

池の周囲には千本を超える桜が植えられ、また市民の手で狭山池祭が毎年開催されています。

関連情報

大阪府ホームページ

<http://www.pref.osaka.jp/damusabo/dam/sayama.html>

光明池

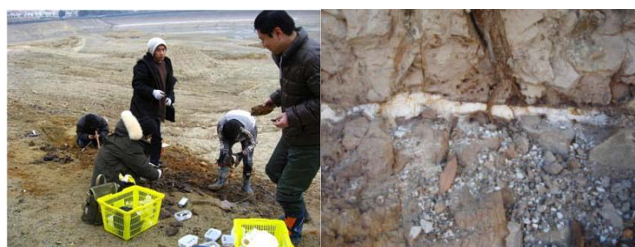
(こうみょういけ)



全景



遊歩道



光明池の化石調査

カスリ火山灰層(白層)

ため池の概要

□ため池の所在地

大阪府和泉市

□ため池の特徴

光明池は、大阪府最大の貯水量370万トンを有し、現在も300haの農地に用水を供給するため池で、名前の由来は光明皇后の誕生の地に位置するからであるといわれています。

この地域は、雨乞い祈願や雨乞い踊りが伝承文化として残るほど古来から干ばつに苦しんできましたが、昭和11年に完成した光明池の用水によって安定した農業が可能となりました。

周辺は「大阪みどりの百選」に選定され、「大阪ミュージアム」の展示物としても登録されています。また、地質学的にも非常に貴重で、池底の大阪層群と呼ばれる地層や、遠く九州阿蘇山から飛来したとされる珍しい「カスリ火山灰層」が観察できます。

府下でも数少ない希少生物の見られる場所で、野鳥も多く、多数の渡り鳥が飛来し野鳥の楽園となっています。

また、一般市民が管理する花壇がおかれ、冬期には住民とともに池内の清掃が行われます。

関連情報

水土里ネット光明池ホームページ

<http://www.koumyouike.org/>

Wikipedia

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%85%89%E6%98%8E%E6%B1%A0>

久米田池

(くめだいけ)



全景



鳥の国際空港



「行基参り」

灯籠流し

ため池の概要

□ため池の所在地

大阪府岸和田市

□ため池の特徴

久米田池は、僧行基さんが神亀2年(725年)から天平10年(738年)まで14年の歳月をかけて造られた池です(行基年譜)。

池は、年間100種類以上の野鳥が訪れる「鳥の国際空港」として市民に親しまれており、絶滅危惧種のカワチブナ(河内鮒)の養殖も行われています。

昔、池の北西八木郷一帯は水量の少ない天の川に頼っており、干ばつに悩む農民を見て、僧行基と橘諸兄が農民を集めて最初の久米田池を築造し、その後、周辺の小さな数個の池を集めて、現在の大きな久米田池にしたと伝えられています。

池畔には、行基開創の名刹久米田寺があり、境内は大阪府指定文化財となっています。堤には桜の大木が植えられ、春には空も桃色にかすむほど花が咲き誇り、お盆には久米田寺の信徒による灯籠流しが行われます。

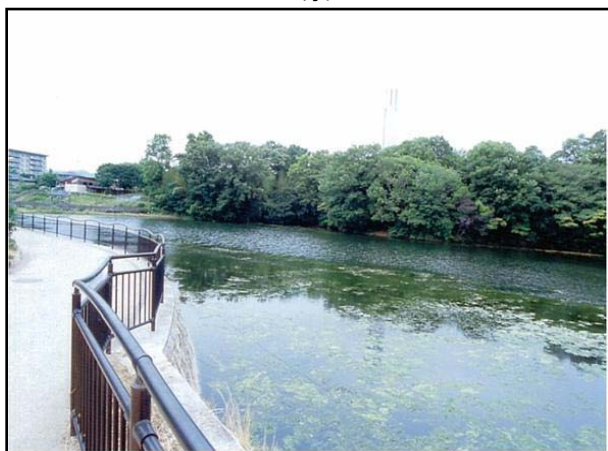
関連情報

長池オアシス（長池、下池）

（ながいけ、したいけ）



全景



池周辺のウォーキングコース



水生植物帯
に設けられ
たボード
ウォーク

ため池の概要

□ため池の所在地

大阪府泉南郡熊取町

□ため池の特徴

長池、下池は、室町時代に造られた古いため池で、今日まで農業用水として活用されています。

平成6～12年に大阪府の「オアシス構想」によって、パピルスなどの水生植物帯やその観察のためのボードウォーク、池周囲のウォーキングコース、貸し農園などが整備されました。

同時に、長池オアシス管理委員会が設立され、花壇の除草・手入れ、長池や水生植物帯などの維持管理活動が毎日行われており、年2回は周辺自治会からも活動に参加してもらっています。

また、小学校の野外活動として、パピルス植え付け、刈り取り、ひまわりや菖蒲の植え付けなども行われています。

関連情報

寺ヶ池

(てらがいけ)



全景



池周辺の状況



菖蒲園に
設けられた
親水施設

ため池の概要

□ため池の所在地

大阪府河内長野市

□ため池の特徴

寺ヶ池は、16年の歳月と延べ4万人の人力により慶安2年(1649年)に完成したため池です。

360年にわたり一度も水を涸らすことなく農業用水を供給し、数え歌で「一に寺池、二に狭山池、三に和泉の久米田池」と古くから伝承されています。

河川の取水口からため池までは約14kmもの距離があり、急斜面沿いの水路工事や丘陵を利用した池の拡張など、当時の技術では非常に困難な工事であったことが想像されます。

寺ヶ池は、新田開発により米の収穫高が100倍になるほど重要な水源となり、工事の現場指揮をとった中村与次兵衛の命日には「ゆあんさん」と呼ばれる行事が行われ、その遺徳が偲ばれています。

寺ヶ池は、農業利用と併せて、親水機能を持つ河内長野市最大の公園となっており、散策路、菖蒲園に八つ橋を架けた親水施設などが整備され、四季を通じて地域住民の憩いの場として利用されています。

また、ヒドリガモやキンクロハジロなどの渡り鳥が採餌・羽休めを行う場として活用されています。

関連情報

河内長野市ホームページ

<http://www.city.kawachinagano.osaka.jp/>

伊賀今池

(いがいまいけ)



全景



ため池オアシス事業の看板

ため池の概要

□ため池の所在地

大阪府羽曳野市

□ため池の特徴

伊賀今池は、大阪府の「ため池オアシス事業」の第1号として平成3年度に、池の一部を埋め立てるとともに、周辺緑化、遊歩道、親水広場などが整備され市民の憩いの場となっています。

もともとの池は、この地域では240年前に寺院が建立され、地主が田畑を大規模に開墾していることから、江戸時代に築造されたといわれています。

オアシス事業にあわせて、地域の町会が主となり「ふれあい水辺づくり委員会」を設立し、池自体の管理はもとより、各施設の清掃や草刈り、樹木の剪定やゴミ処分などを日常的に行っています。

近年では、幼稚園児が園庭で育てた花苗を、地域の人々と一緒に施設に植えるなど地域とのつながりや連携にも力を入れています。

関連情報

永楽池

(えいらくいけ)



全景



昭和初期に復興された「雨山御前」のいであら。雨山の雨乞い参りは昭和39年まで行われた記録があります。

永楽池四カ条

- 一、水の流れを妨げてはならない。
- 二、人の水まで奪って自分の田地にひき入れてはいけない。
- 三、村役人が依怙鼻息してはならない。
- 四、村役人も百姓も皆自分より他の人のことを優先するよう心掛けなければならぬ。

水の利用に関して村人、役人が守るべき約束事として定められた「永楽池4カ条」

ため池の概要

□ため池の所在地

大阪府泉南郡熊取町

□ため池の特徴

永楽池は、1771年、広島 of 儒学者である斎静斎(いつきせいさい)の指導のもと、地元岸和田藩の大庄屋と村人により建設されました。

ため池によって農業が「永く楽になる」との意味で「永楽池」と命名されました。斎静斎は、ため池の西南に池守明神を祀り、水の利用に関する決まり事を「永楽池4ヶ条」として定めています。

現在も見出川流域及び住吉川流域の農地を潤し、七山米などの米作のほか、水ナス、泉州タマネギ、フキなど地域特産の農作物の重要な水源となっています。

池の周囲は大阪みどりの百選に選定された「奥山雨山自然公園」となっており、コナラやアカマツを中心とした二次林が広がり、市街地の近隣にあって貴重な緑を提供する市民の憩いの場として親しまれています。

また池にはキクモなどの水生植物群落がみられ、周辺の山林・草地ではシュウブソウの生育、シマヘビの生息が確認されており、かつての里山の自然環境が残されています。付近には清冽な水に生息するプラナリアも確認されています。

関連情報

見出川流域水循環再生協議会ホームページ

<http://www.osaka-midori.jp/ondanka-c/midegawa/index.html>

堂尾池

(どうおいけ)



全景



ハイキングコースから見た堂尾池

ため池の概要

□ため池の所在地

大阪府四條畷市

□ため池の特徴

堂尾池は、市内下田原地区の30haの水田の農業用水として利用されており、満水にすれば4月から9月まで雨が降らなくても、地区の全ての水田で米が収穫できるほどの貯水量があります。

堂尾池の水で作られる「河内田原米」は、大阪府から「大阪エコ農産物」の認定を受け、ブランド米として販売されています。

ため池周辺は、春の新緑や秋の紅葉など四季折々の景観が豊かで、キツネ、タヌキなどの野生動物、環境省指定の絶滅危惧Ⅱ類のカスミサンショウウオが生息しています。

また、四季折々の花が咲き、ため池の下流水路沿いには、大阪府ではまれなアキノギンリョウソウが見られます。

堂尾池では、土地改良区や地元小学校・中学校、地域住民、専門家などにより構成される「ビオトープ田原里山の会」を発足させ、堂尾池周辺の維持管理、環境保全、環境学習の支援など、ため池を保全・活用する活動が行われています。

関連情報